

関東運輸局管内における鉄軌道事故等の発生状況
(平成 22 年度)

平成 23 年 10 月
関東運輸局鉄道部

目次

はじめに	1
1 運転事故の発生状況	2
(1) 運転事故の原因別発生状況	2
(2) 運転事故の件数及び死傷者数の推移	3
2 踏切事故の発生状況	5
(1) 踏切事故の件数及び死傷者数の推移	5
(2) 踏切事故の原因別発生状況	7
(3) 踏切事故の踏切種別別発生状況	9
3 人身障害事故の発生状況	11
(1) 人身障害事故の件数及び死傷者数の推移	11
(2) 人身障害事故の原因別発生状況	13
4 輸送障害の発生状況	15

はじめに

「鉄道における運転事故等の発生状況」は、鉄道事故等報告規則及び軌道事故等報告規則（以下、「規則」という。）に基づき、関東運輸局管内1都7県（※1）の鉄軌道事業者から報告のあった事故等の統計です。

本統計は、平成13年10月に規則が改正されたことにより、都道府県単位での集計が可能となったことから、各都県の統計をとりまとめたものです。（※2）

なお、全国の統計に関しましては国土交通省のホームページに掲載されておりますので併せてご覧下さい。

（※1）1都7県：東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県、茨城県、栃木県、群馬県、山梨県

（※2）事故統計は平成14年度以降を掲載

1. 運転事故の発生状況

(1) 運転事故の種類別発生状況

関東運輸局管内における運転事故は 264 件であり、対前年度 29 件の増でした。

これは、人身障害事故件数の増によるものであり、運転事故件数全体の約 7 割を占めています。

○件数	264 件	対前年度	29 件 (11.0%) 増	〔参考：全国 869 件 【暫定値】 710 人 353 人〕
○死傷者数	235 人	対前年度	32 人 (13.6%) 増	
○うち死亡者数	79 人	対前年度	8 人 (10.1%) 増	

運転事故の種類別発生状況（平成 22 年度）

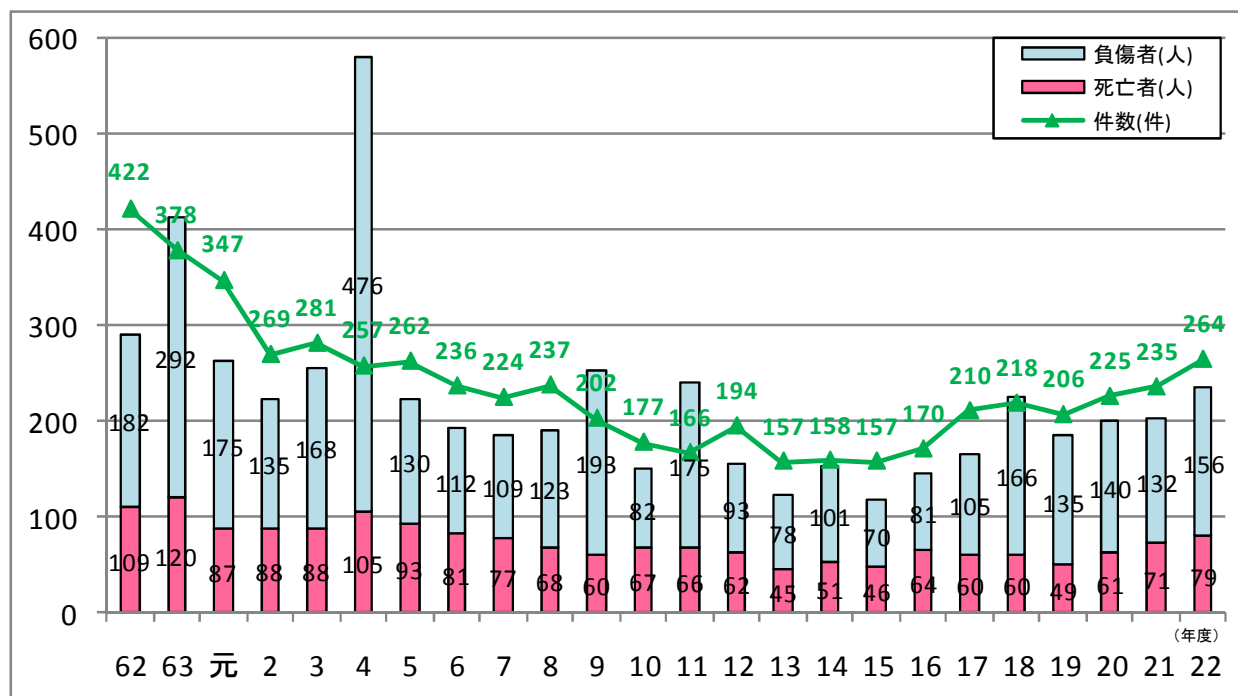
(件)

	列車脱線	列車衝突	列車火災	踏切障害	道路障害	人身障害	鉄道物損	合計
東京都	0	0	0	15	6	110	0	131
	0.0%	0.0%	0.0%	11.5%	4.6%	84.0%	0.0%	100.0%
神奈川県	0	0	0	11	3	30	0	44
	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	6.8%	68.2%	0.0%	100.0%
千葉県	1	0	0	8	0	14	0	23
	4.3%	0.0%	0.0%	34.8%	0.0%	60.9%	0.0%	100.0%
埼玉県	0	0	0	17	0	18	0	35
	0.0%	0.0%	0.0%	48.6%	0.0%	51.4%	0.0%	100.0%
茨城県	0	0	0	12	0	5	0	17
	0.0%	0.0%	0.0%	70.6%	0.0%	29.4%	0.0%	100.0%
栃木県	0	0	0	2	0	3	0	5
	0.0%	0.0%	0.0%	40.0%	0.0%	60.0%	0.0%	100.0%
群馬県	0	0	0	4	0	2	0	6
	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%	0.0%	33.3%	0.0%	100.0%
山梨県	0	0	0	1	0	2	0	3
	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	66.7%	0.0%	100.0%
関東運輸局管内 合計	1	0	0	70	9	184	0	264
	0.4%	0.0%	0.0%	26.5%	3.4%	69.7%	0.0%	100.0%

(2) 運転事故の件数及び死傷者数の推移

運転事故件数は、平成15年度までは減少傾向にありましたが、近年は増加傾向となっております。

関東運輸局管内における運転事故の件数及び死傷者数の推移



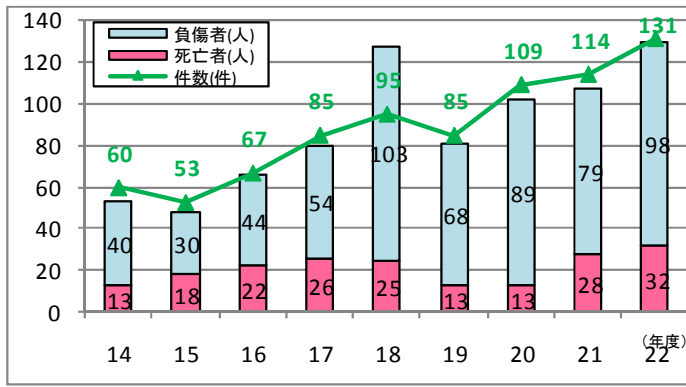
※用語の説明

運 転 事 故	列車衝突事故、列車脱線事故、列車火災事故、踏切障害事故、道路障害事故、鉄道人身障害事故及び鉄道物損事故をいう【*】
列 車 衝 突 事 故	列車が他の列車又は車両と衝突し、又は接触した事故。本文中では、軌道における車両衝突事故を含む【*】
列 車 脱 線 事 故	列車が脱線した事故。本文中では、軌道における車両脱線事故を含む【*】
列 車 火 災 事 故	列車に火災が生じた事故。本文中では、軌道における車両火災事故を含む【*】
踏 切 障 害 事 故	踏切道において、列車又は車両が道路を通行する人又は車両等と衝突し、又は接触した事故【*】
道 路 障 害 事 故	踏切道以外の道路において、列車又は車両が道路を通行する人又は車両等と衝突し、又は接触した事故【*】
鉄 道 人 身 障 害 事 故	列車又は車両の運転により人の死傷を生じた事故（上記の5種類の事故に伴うものを除く。）【*】
鉄 道 物 損 事 故	列車又は車両の運転により500万円以上の物損を生じた事故（上記の6種類の事故に伴うものを除く。）【*】

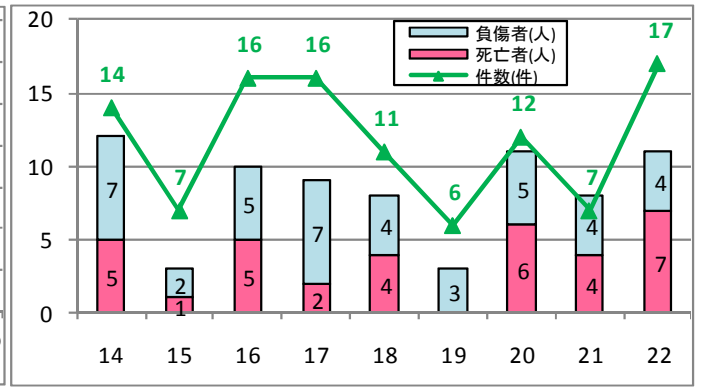
注1) 本用語の説明は、鉄道事業法を基本に記載しております。

注2) 自殺によるものは輸送障害に分類しております。

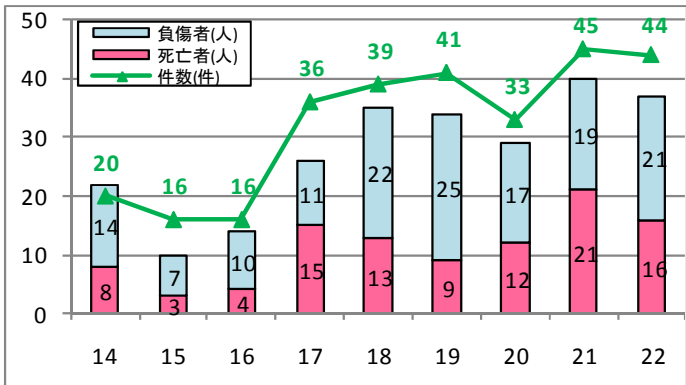
*: 詳細は「鉄道事故等報告規則」、「軌道事故等報告規則」をご参照下さい



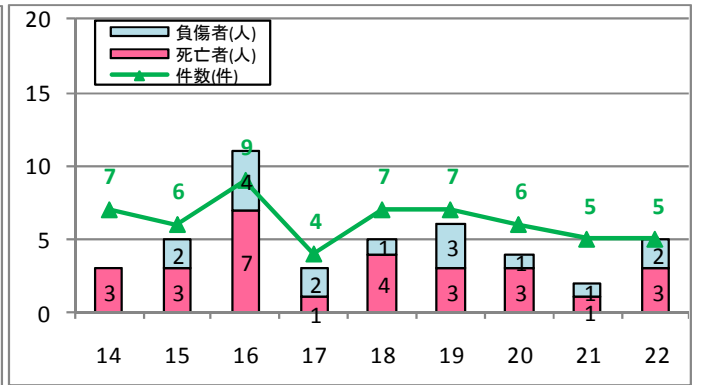
東京都



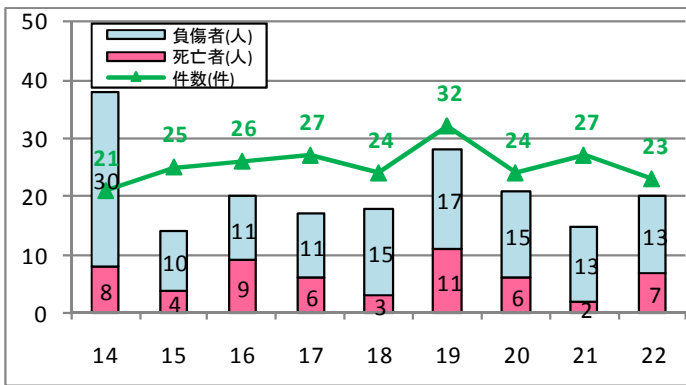
茨城県



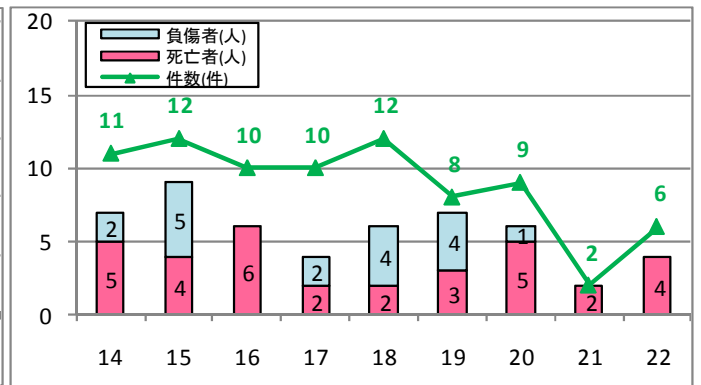
神奈川県



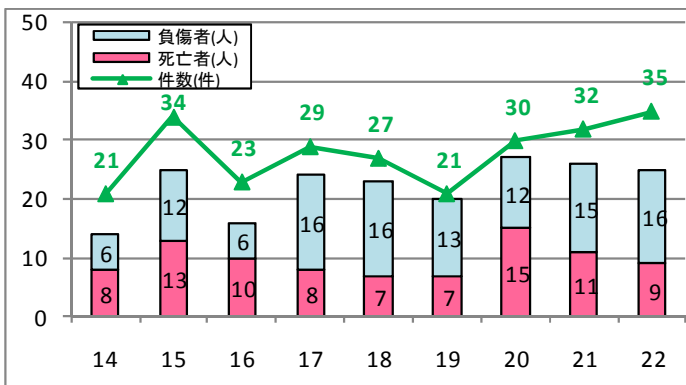
栃木県



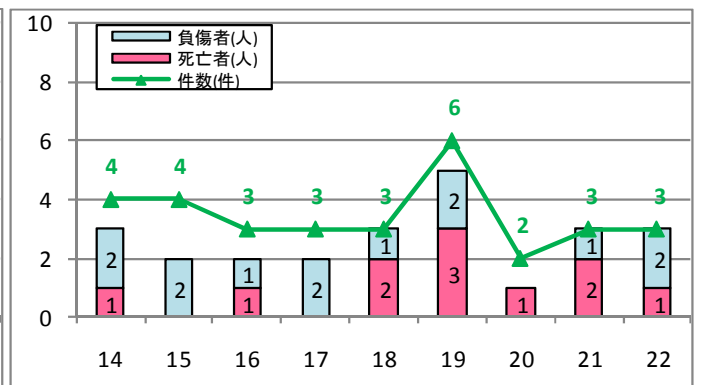
千葉県



群馬県



埼玉県



山梨県

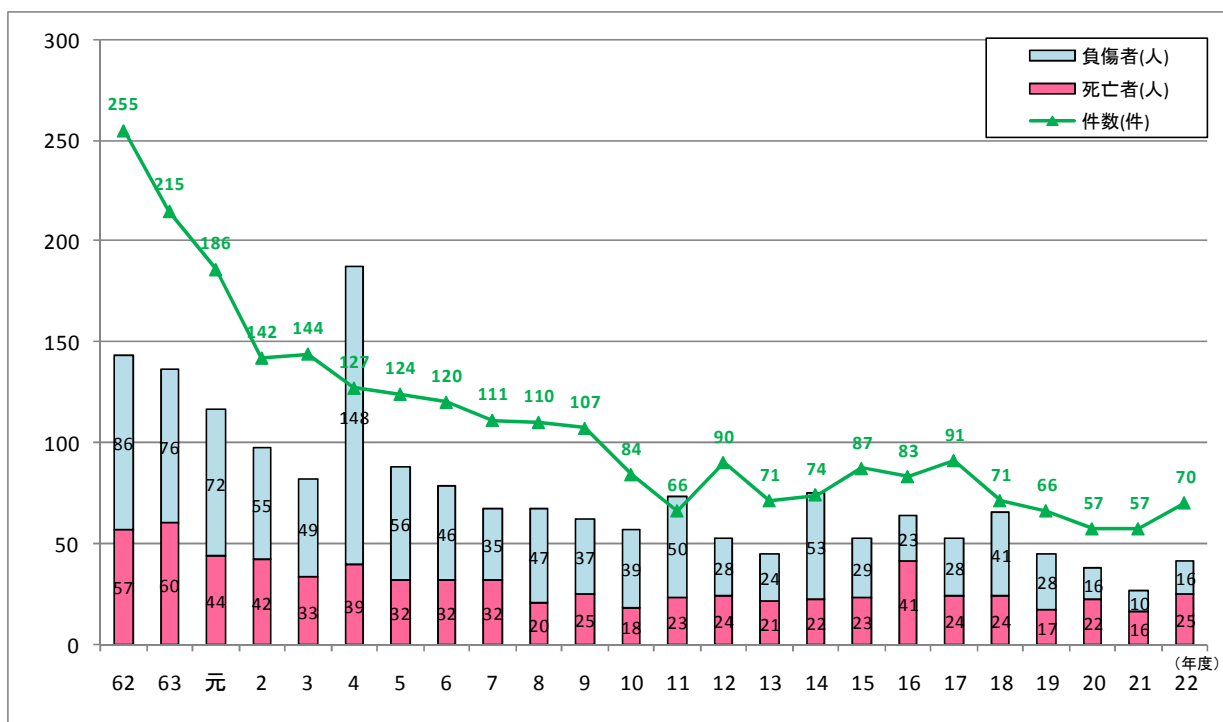
2. 踏切事故の発生状況

(1) 踏切事故の件数及び死傷者数の推移

関東運輸局管内における踏切事故は、踏切遮断機等の整備等により長期的に減少傾向にありましたが、対前年度の事故件数及び死傷者数とも増加しました。

○件数	70件	対前年度	13件(18.6%)増	【参考：全国 【暫定値】 】
○死傷者数	41人	対前年度	15人(36.6%)増	
○うち死亡者数	25人	対前年度	9人(36.0%)増	
				303件
				192人
				118人

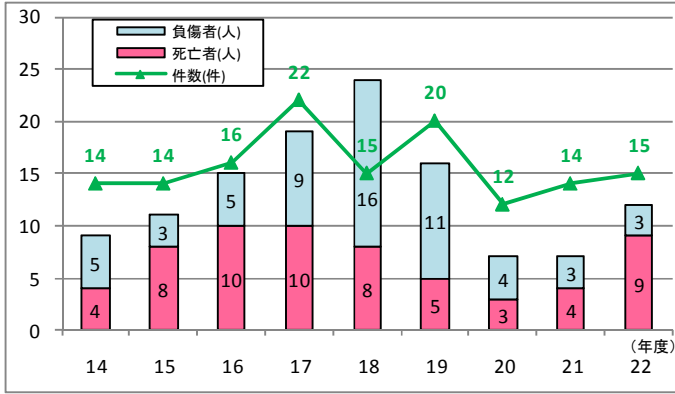
関東運輸局管内における踏切事故件数及び死傷者数の推移



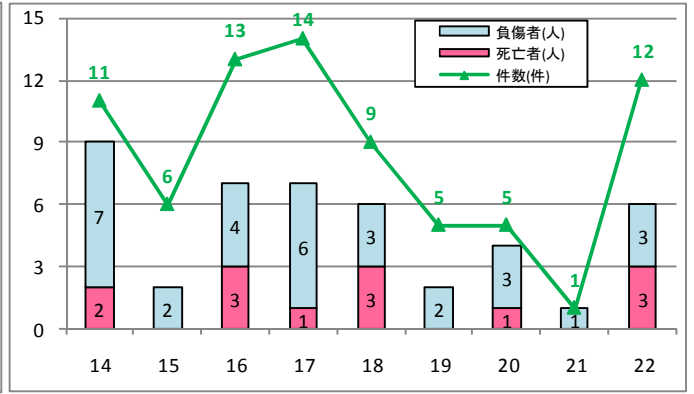
※用語の説明

踏切事故	踏切障害に伴う列車衝突事故、列車脱線事故及び列車火災事故並びに踏切障害事故をいう
------	--

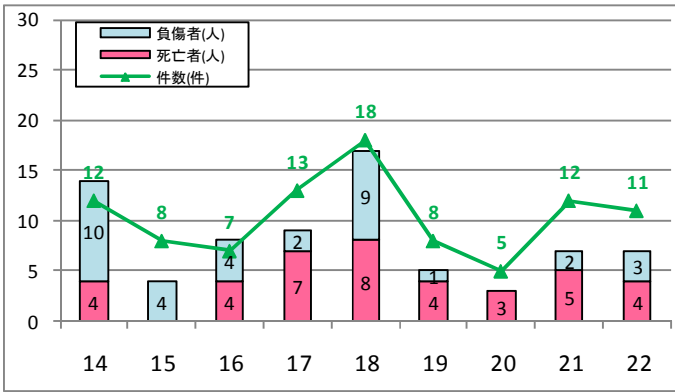
各都県における踏切事故件数及び死傷者数の推移



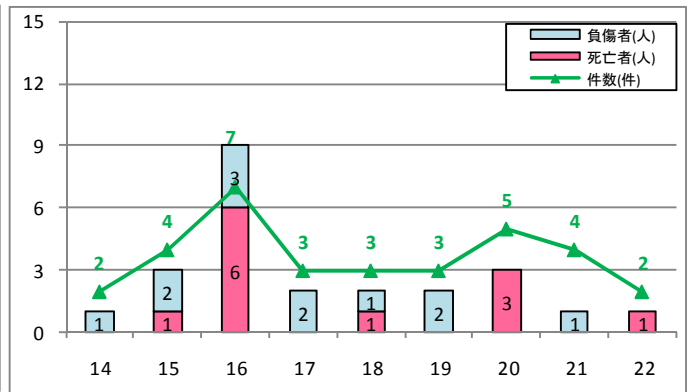
東京都



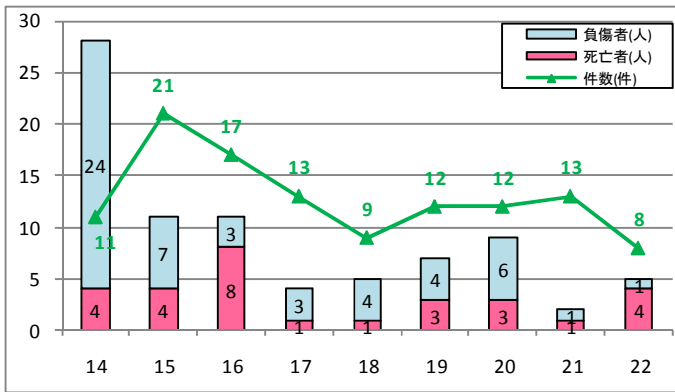
茨城県



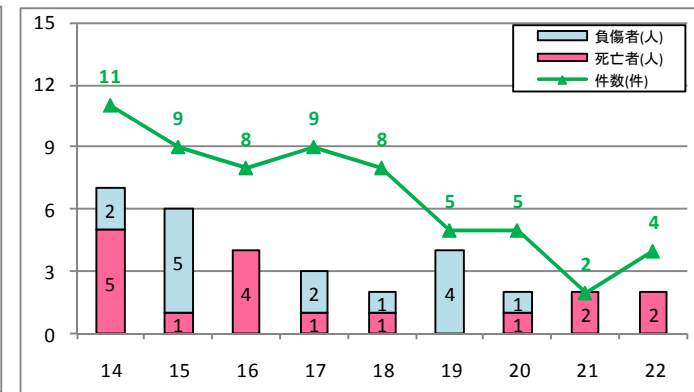
神奈川県



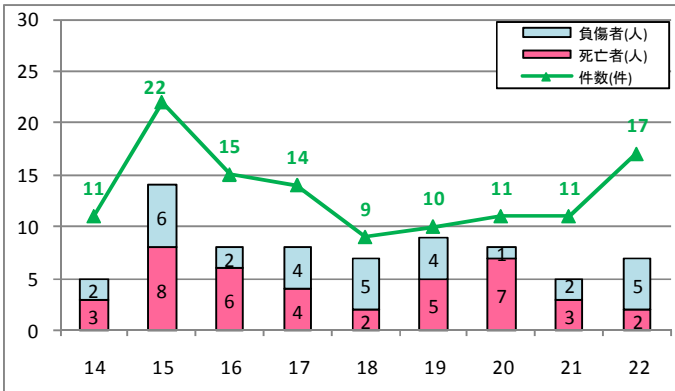
栃木県



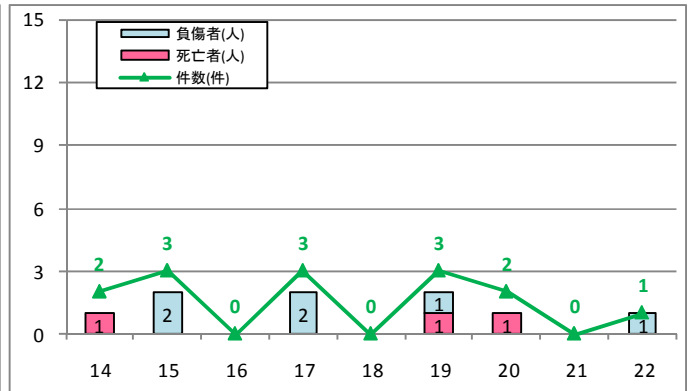
千葉県



群馬県



埼玉県



山梨県

(2) 踏切事故の原因別発生状況

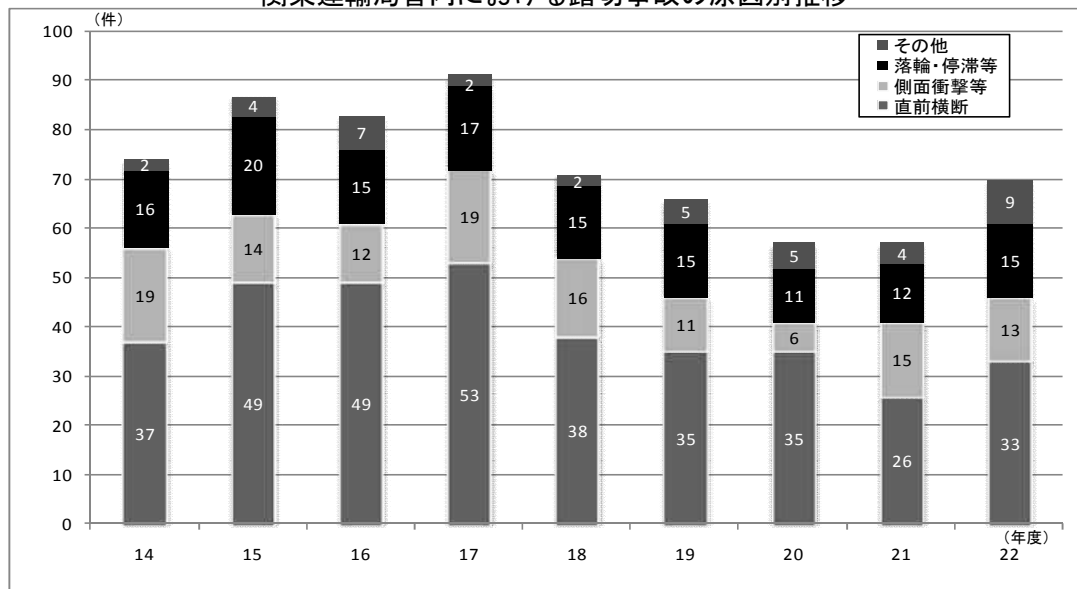
関東運輸局管内においては、直前横断によるものが踏切事故全体の約5割を占めています。

踏切事故の原因別発生状況（平成22年度）

(件)

原因	直前横断	側面衝撃等	落輪・停滞等	その他	合計
東京都	11	0	1	3	15
	73.3%	0.0%	6.7%	20.0%	100.0%
神奈川県	5	4	1	1	11
	45.5%	36.4%	9.1%	9.1%	100.0%
千葉県	5	1	1	1	8
	62.5%	12.5%	12.5%	12.5%	100.0%
埼玉県	5	4	6	2	17
	29.4%	23.5%	35.3%	11.8%	100.0%
茨城県	5	3	4	0	12
	41.7%	25.0%	33.3%	0.0%	100.0%
栃木県	0	0	1	1	2
	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	100.0%
群馬県	2	0	1	1	4
	50.0%	0.0%	25.0%	25.0%	100.0%
山梨県	0	1	0	0	1
	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%
関東運輸局管内	33	13	15	9	70
合計	47.1%	18.6%	21.4%	12.9%	100.0%

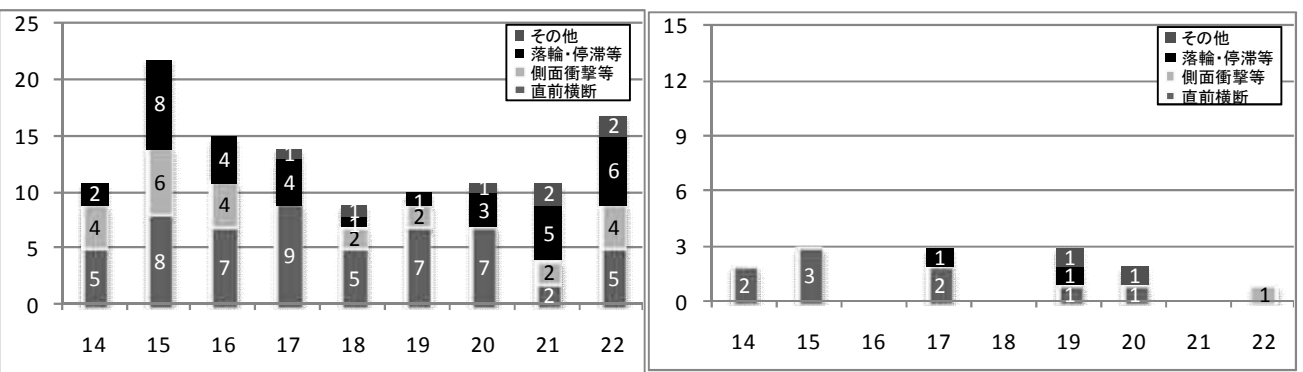
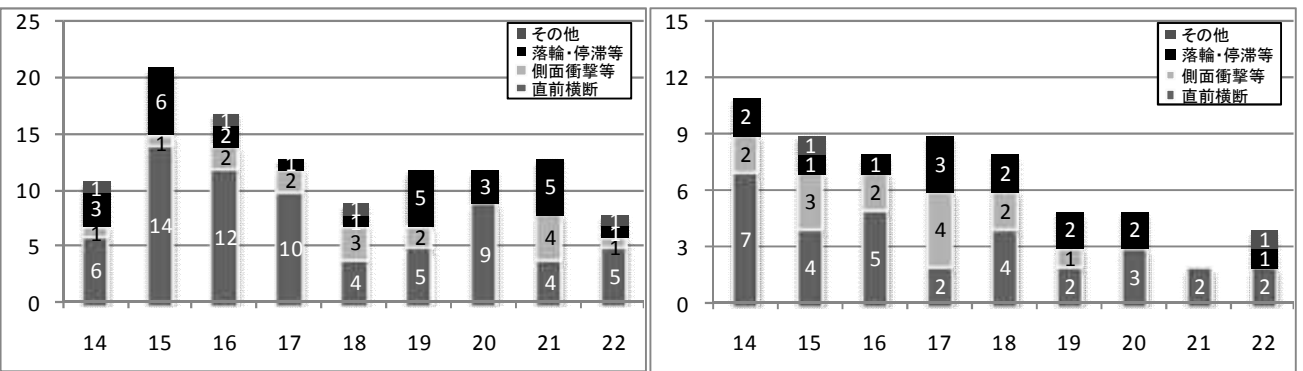
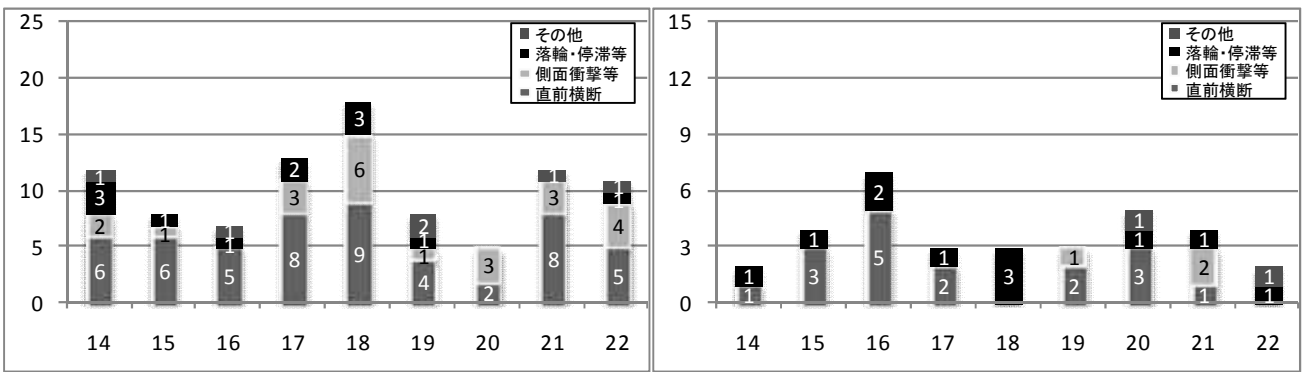
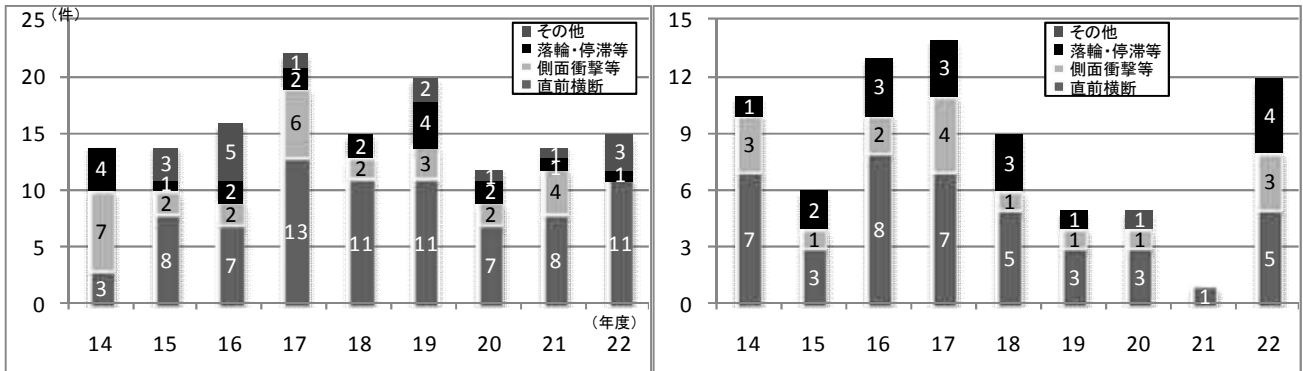
関東運輸局管内における踏切事故の原因別推移



※用語の説明

側面衝撃等	側面衝撃及び限界支障を指す
側面衝撃	列車の通過中に自動車等が進入し列車の側面に衝突したもの
限界支障	自動車等が踏切道の手前や先で停止した位置が不適切であったために、列車と接触したもの
落輪・停滞等	落輪、停滞、エンスト（歩行者及び自転車等の場合、転倒等）により、踏切道から進退できずに列車等と衝突したもの

各都県における踏切事故の原因別推移



(3) 踏切事故の踏切種別発生状況

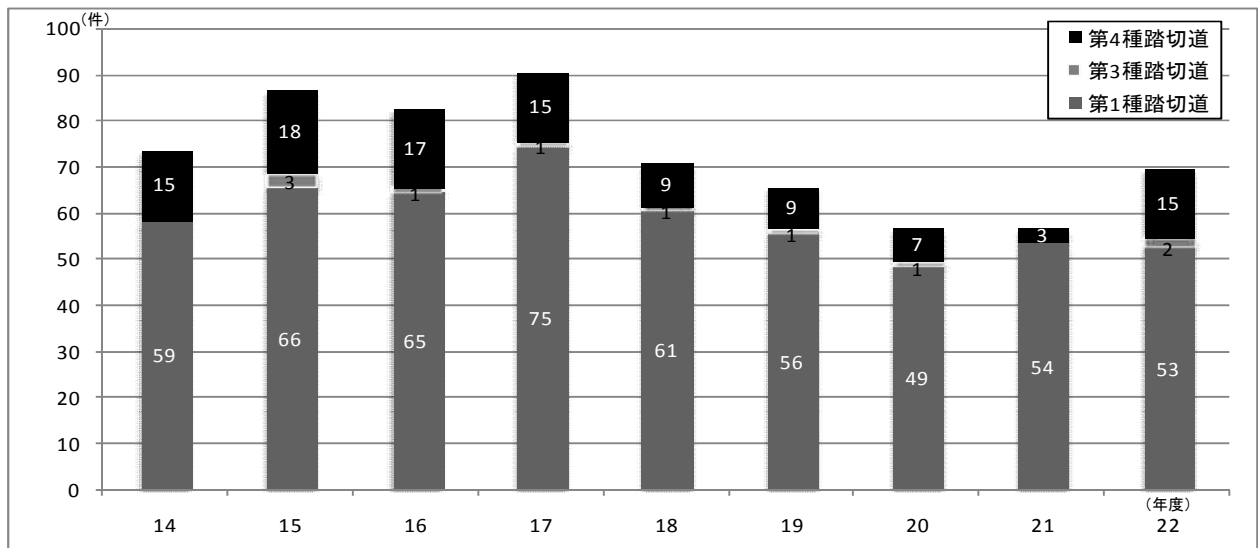
関東運輸局管内においては、第1種踏切道での事故が踏切事故全体の約7割を占めています。

踏切事故の踏切種別発生状況（平成22年度）

(件)

踏切種別	第1種踏切道	第3種踏切道	第4種踏切道	合計
東京都	12	0	3	15
	80.0%	0.0%	20.0%	100.0%
神奈川県	10	0	1	11
	90.9%	0.0%	9.1%	100.0%
千葉県	5	1	2	8
	62.5%	12.5%	25.0%	100.0%
埼玉県	15	0	2	17
	88.2%	0.0%	11.8%	100.0%
茨城県	7	1	4	12
	58.3%	8.3%	33.3%	100.0%
栃木県	1	0	1	2
	50.0%	0.0%	50.0%	100.0%
群馬県	2	0	2	4
	50.0%	0.0%	50.0%	100.0%
山梨県	1	0	0	1
	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%
関東運輸局管内	53	2	15	70
合計	75.7%	2.9%	21.4%	100.0%

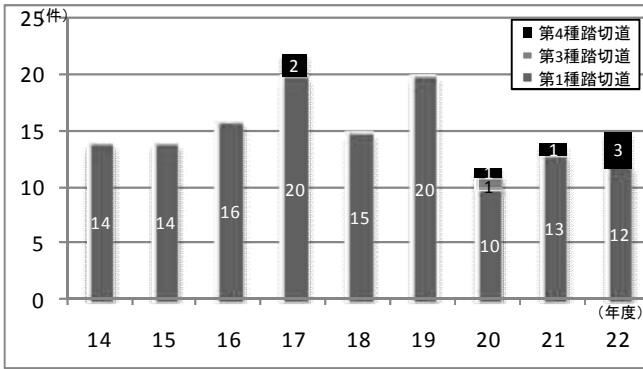
関東運輸局管内における踏切事故の踏切種別別推移



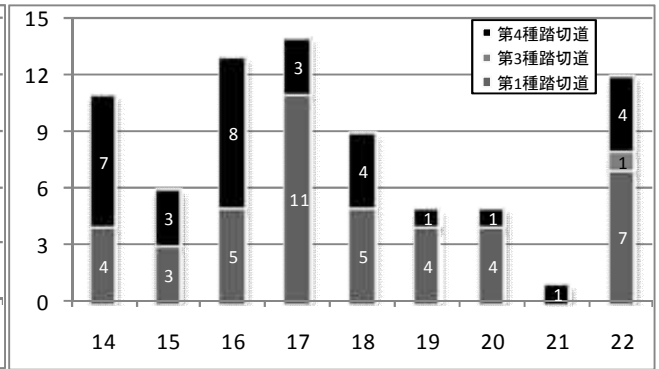
※用語の説明

第1種踏切道	自動踏切遮断機を設置するか又は踏切保安係を配置して、踏切道を通過するすべての列車又は車両に対し、遮断機を閉じ道路を遮断するもの（終発の列車から始発の列車までの時間内に踏切道を通過する車両に対し、遮断しない場合があるものを含む。）
第2種踏切道	踏切保安係を配置して、踏切道を通過する一定時間内における列車又は車両に対し、遮断機を閉じ道路を遮断するもの（現在設置されているものはない。）
第3種踏切道	警報機が設置されているが、遮断機が設置されていない踏切道
第4種踏切道	遮断機も警報機も設置されていない踏切道

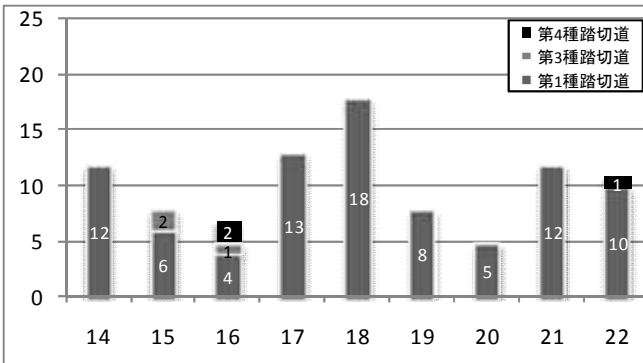
各都県における踏切事故の踏切種別別推移



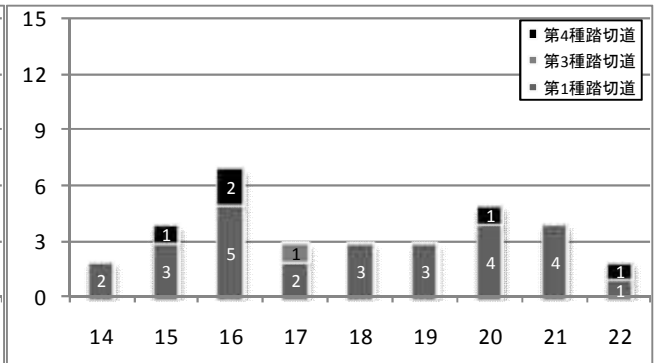
東京都



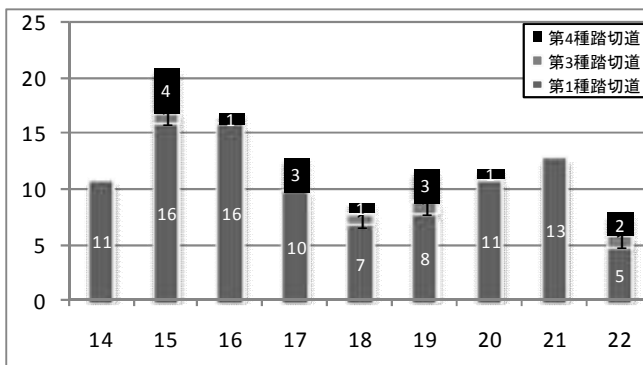
茨城県



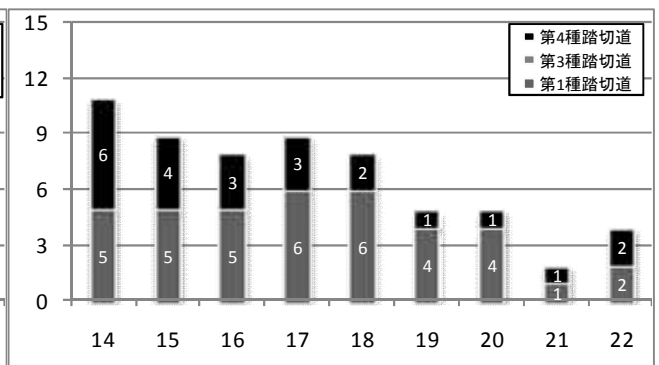
神奈川県



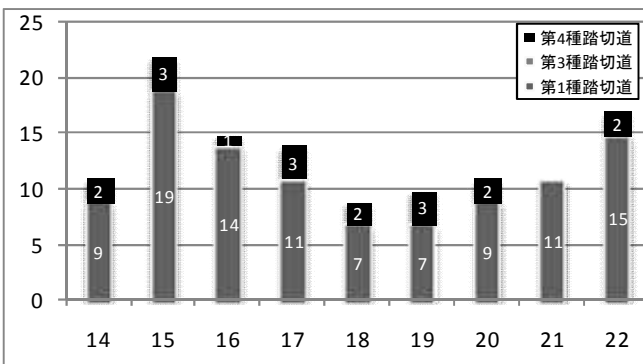
栃木県



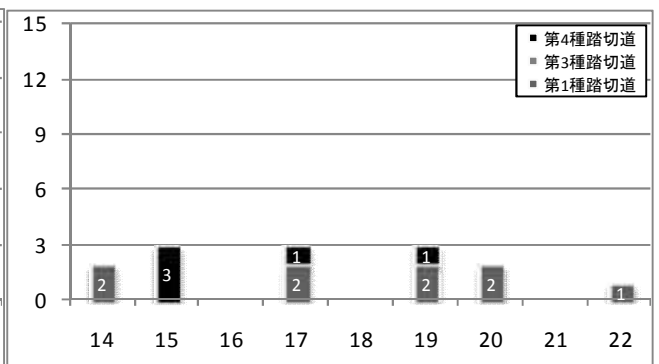
千葉県



群馬県



埼玉県



山梨県

3. 人身障害事故の発生状況

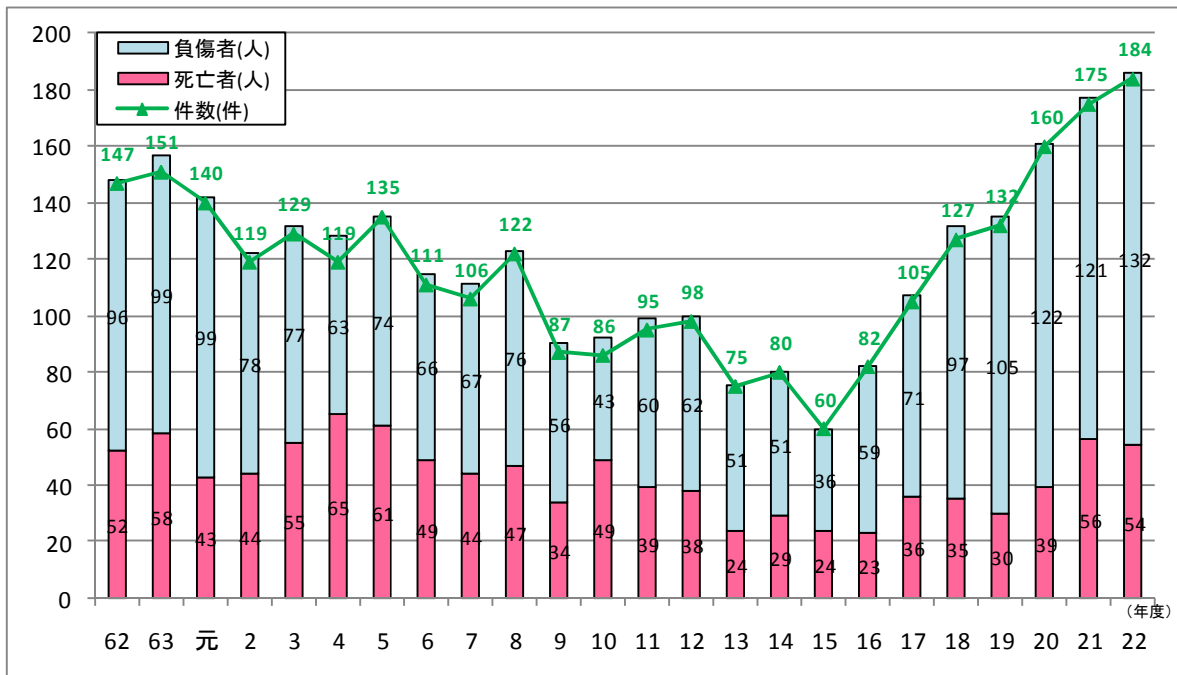
(1) 人身障害事故の件数及び死傷者数の推移

関東運輸局管内における人身障害事故は、平成15年度までは減少傾向にありましたが、近年は増加傾向となっており、運転事故に占める割合も高くなってきています。

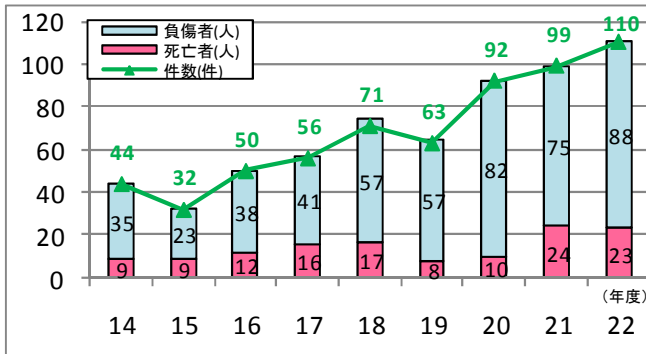
事故件数については、対前年度で9件（4.9%）の増となりました。

○件数	184件	対前年度	9件（4.9%）増	参考：全国 【暫定値】 463件 469人 234人
○死傷者数	186人	対前年度	9人（4.8%）増	
○うち死亡者数	54人	対前年度	-2人（3.7%）減	

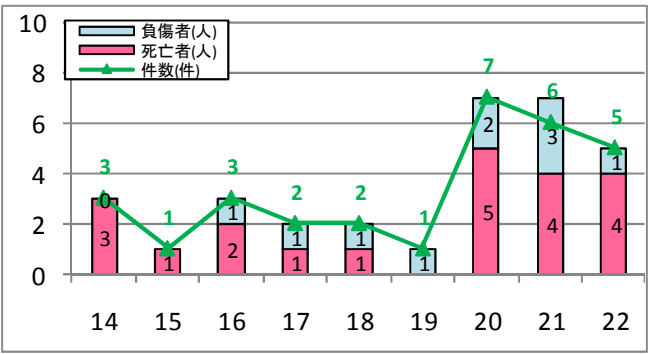
関東運輸局管内における人身障害事故の件数及び死傷者数の推移



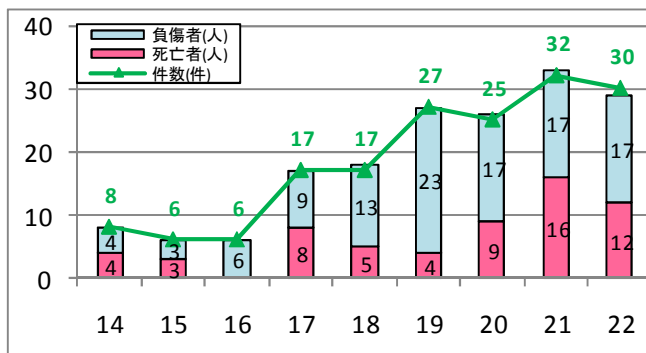
各都県における人身障害事故の件数及び死傷者数の推移



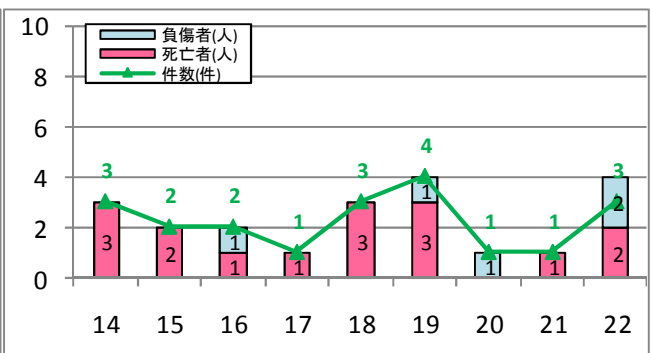
東京都



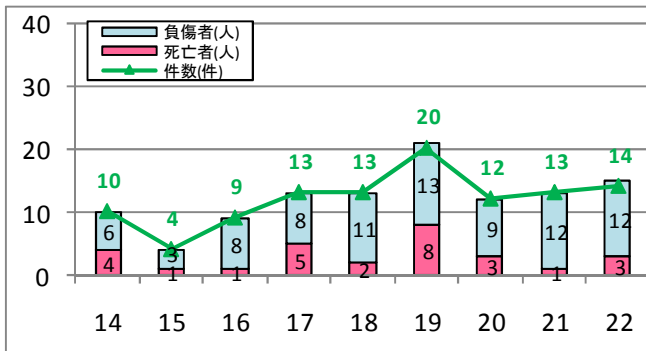
茨城県



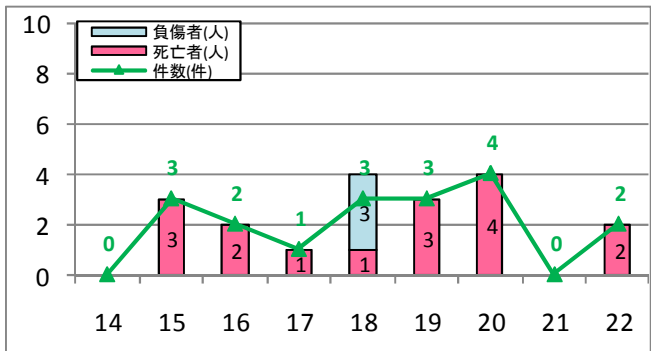
神奈川県



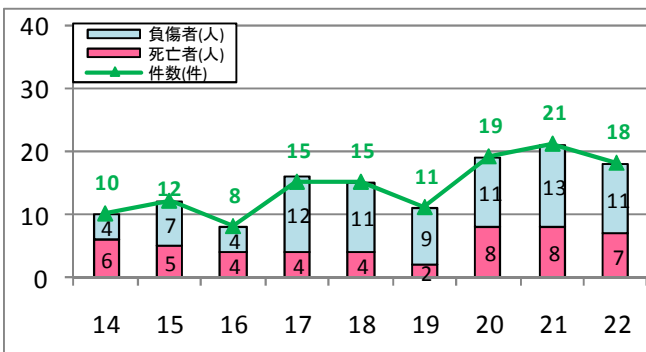
栃木県



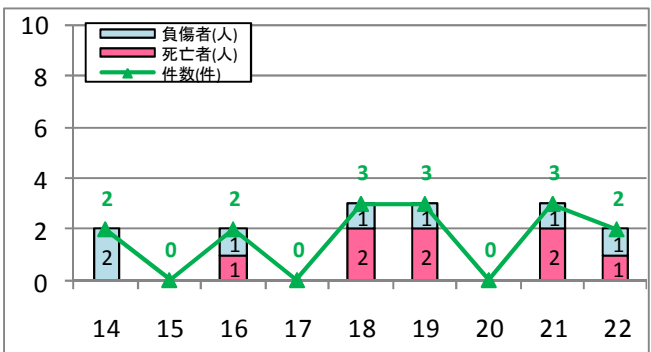
千葉県



群馬県



埼玉県



山梨県

(2) 人身障害事故の原因別発生状況

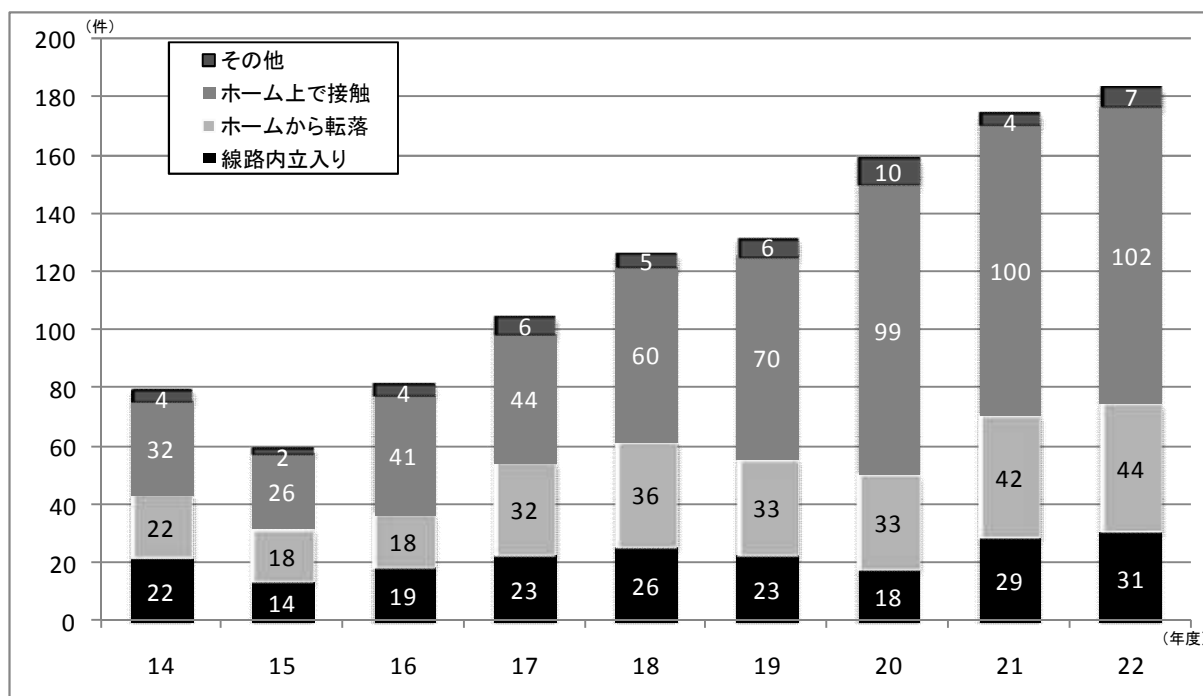
人身障害事故のうち、「ホームから転落」及び「ホーム上で接触」のうち約7割（102件）が酔客に関係するものでした。

人身障害事故の原因別発生状況（平成22年度）

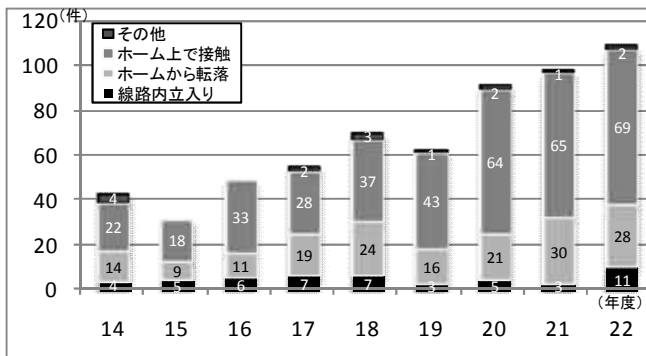
(件)

種別	線路内立入り	ホームから転落	ホーム上で接触	その他	合計
東京都	11	28	69	2	110
	10.0%	25.5%	62.7%	1.8%	100.0%
神奈川県	2	11	17	0	30
	6.7%	36.7%	56.7%	0.0%	100.0%
千葉県	2	2	10	0	14
	14.3%	14.3%	71.4%	0.0%	100.0%
埼玉県	8	3	5	2	18
	44.4%	16.7%	27.8%	11.1%	100.0%
茨城県	3	0	1	1	5
	60.0%	0.0%	20.0%	20.0%	100.0%
栃木県	1	0	0	2	3
	33.3%	0.0%	0.0%	66.7%	100.0%
群馬県	2	0	0	0	2
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
山梨県	2	0	0	0	2
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
関東運輸局管内	31	44	102	7	184
合計	16.8%	23.9%	55.4%	3.8%	100.0%

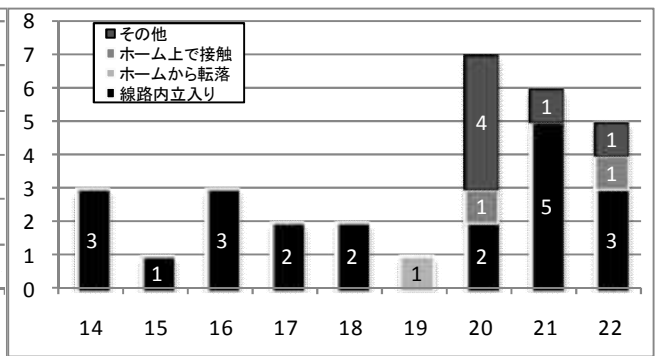
関東運輸局管内における人身障害事故の原因別推移



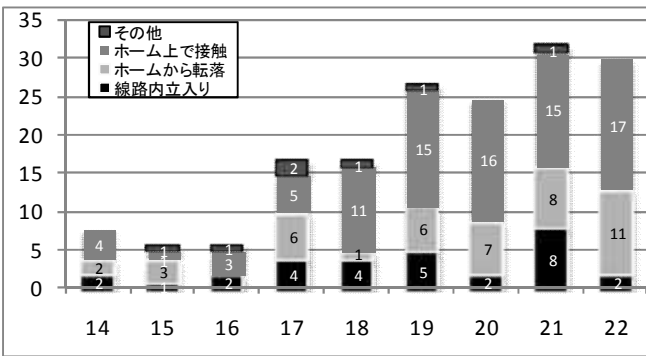
各都県における人身障害事故の原因別推移



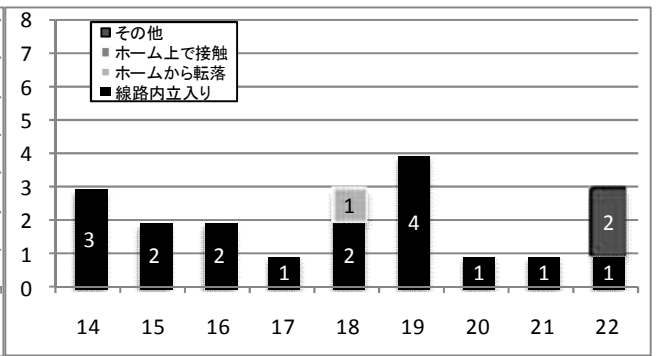
東京都



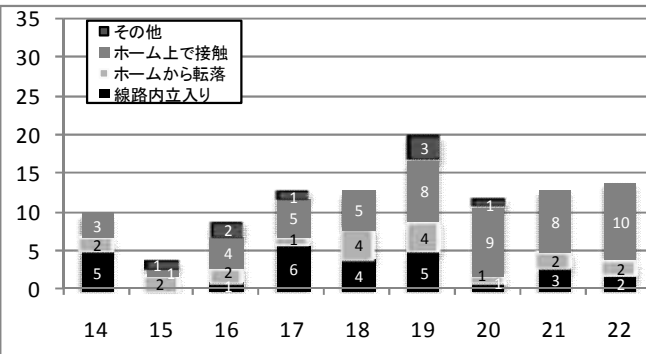
茨城県



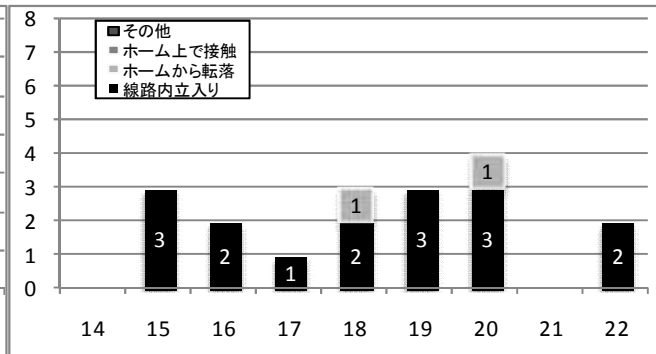
神奈川県



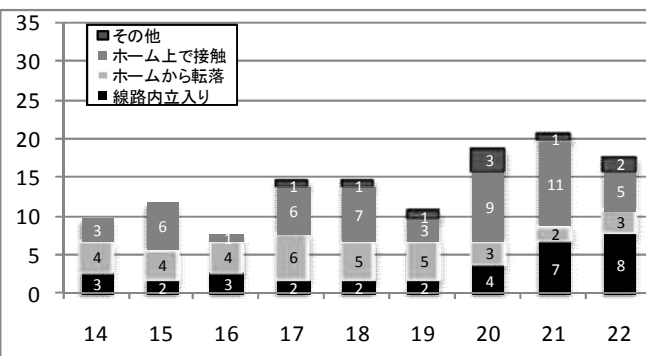
新潟県



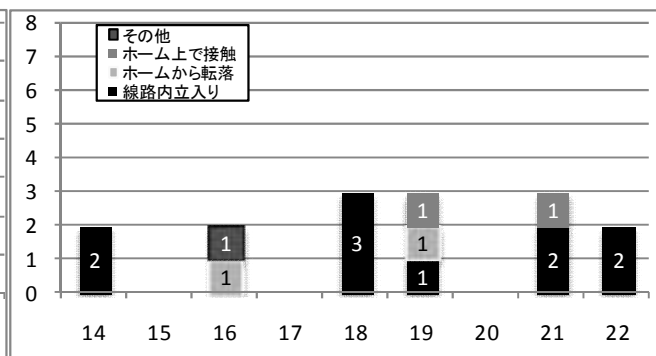
千葉県



群馬県



埼玉県



山梨県

4. 輸送障害の発生状況

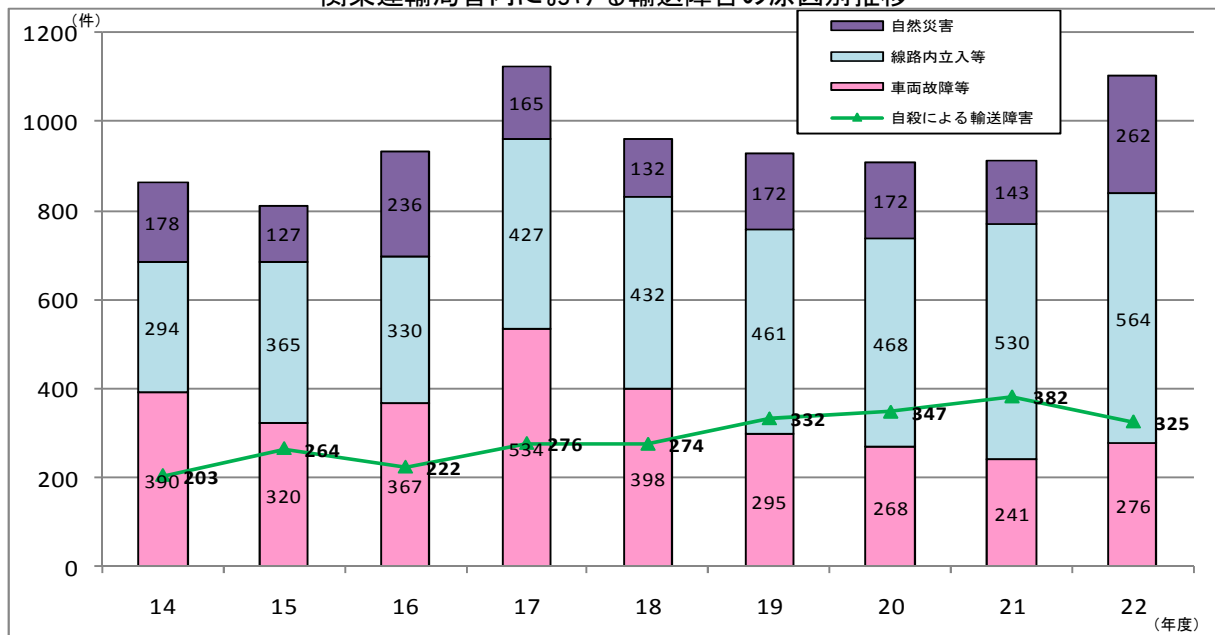
関東運輸局管内における輸送障害（列車の運休、旅客列車の30分以上の遅延等）の発生件数は、1102件対前年度188件（17.1%）の増となりました。これは、東日本大震災の影響によるものが大きいと思われます。

一方、輸送障害のうち自殺によるものは、325件対前年度57件（17.5%）の減となりました。また、今年度においては輸送障害全体の約3割を占めています。

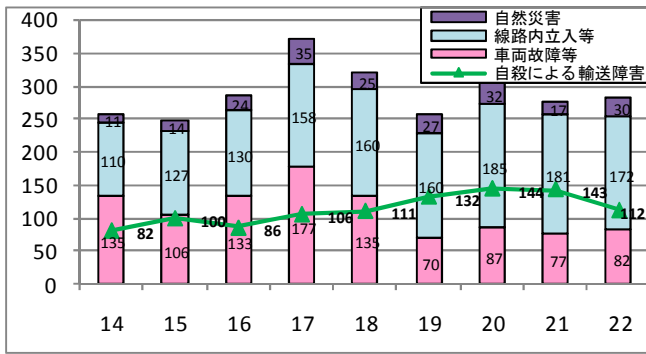
輸送障害の発生状況（平成22年度）

	車両故障等			線路内立入等		自然災害	合計
	鉄道係員	車両	土木・電気	自殺	自殺以外		
東京都	21	30	31	112	60	30	284
	7.4%	10.6%	10.9%	39.4%	21.1%	10.6%	100.0%
神奈川県	7	13	16	67	36	33	172
	4.1%	7.6%	9.3%	39.0%	20.9%	19.2%	100.0%
千葉県	9	13	16	33	38	76	185
	4.9%	7.0%	8.6%	17.8%	20.5%	41.1%	100.0%
埼玉県	6	17	10	67	25	26	151
	4.0%	11.3%	6.6%	44.4%	16.6%	17.2%	100.0%
茨城県	2	15	4	16	22	28	87
	2.3%	17.2%	4.6%	18.4%	25.3%	32.2%	100.0%
栃木県	6	8	5	6	17	26	68
	8.8%	11.8%	7.4%	8.8%	25.0%	38.2%	100.0%
群馬県	6	13	16	8	22	24	96
	6.7%	14.6%	18.0%	9.0%	24.7%	27.0%	100.0%
山梨県	3	7	2	16	19	19	66
	4.5%	10.6%	3.0%	24.2%	28.8%	28.8%	100.0%
関東運輸局管内 合計	60	116	100	325	239	262	1102
	5.4%	10.5%	9.1%	29.5%	21.7%	23.8%	100.0%

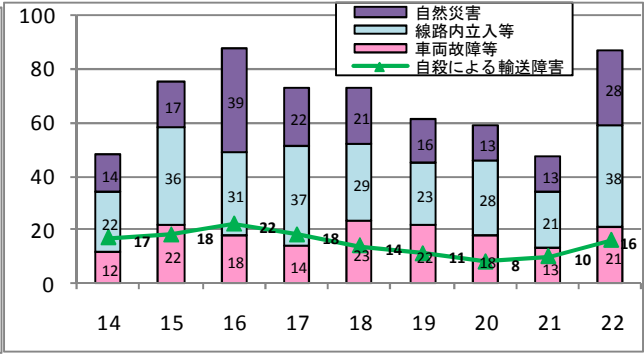
関東運輸局管内における輸送障害の原因別推移



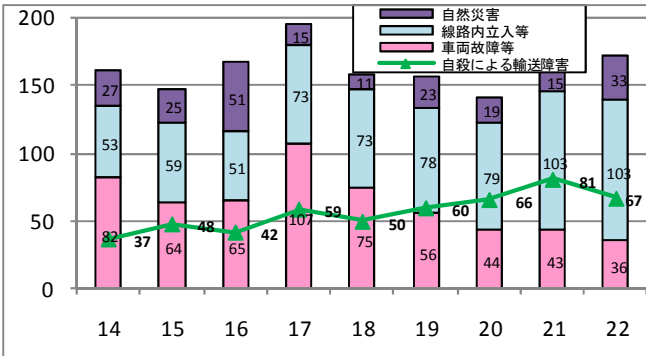
各都県における輸送障害の原因別推移



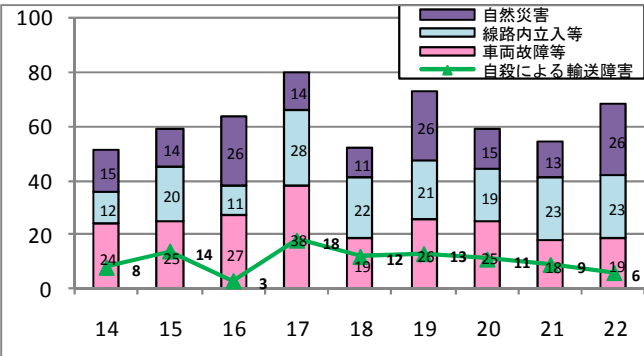
東京都



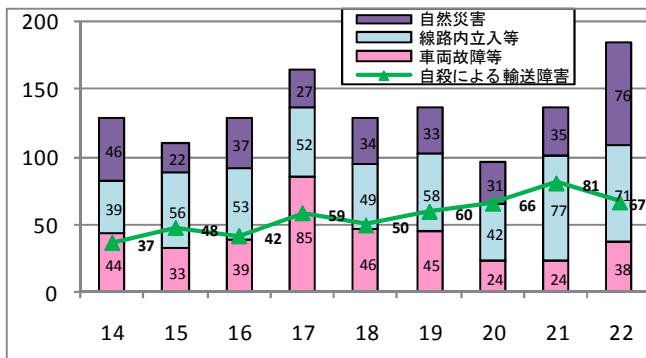
茨城県



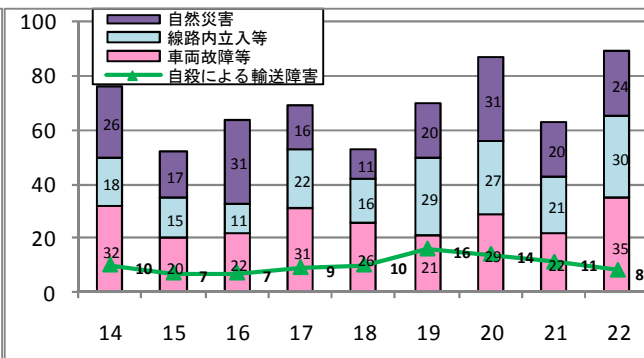
神奈川県



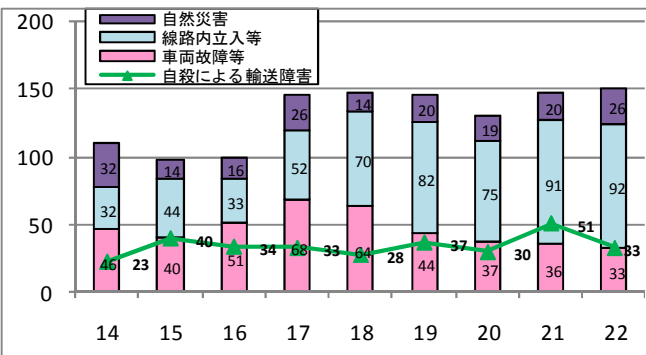
栃木県



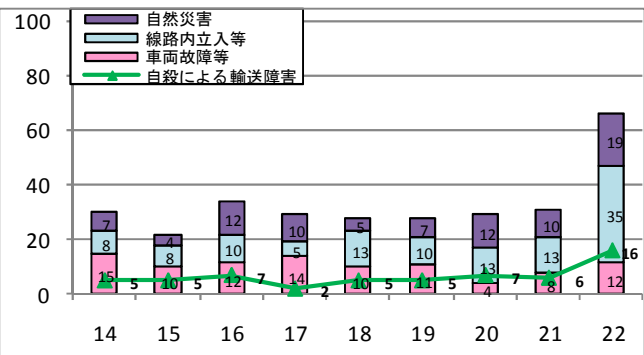
千葉県



群馬県



埼玉県



山梨県

※用語の説明

輸 送 障 害	鉄道による輸送に障害を生じた事態（列車の運転を休止したもの又は旅客列車にあっては 30分（旅客列車以外にあっては1時間）以上遅延を生じたもの）であって、鉄道運転事故以外のもの[*]
車 両 故 障 等	鉄道係員、車両又は鉄道施設に起因するもの
線 路 内 立 入 り 等	線路内立入り、自殺、動物との衝突等に起因するもの（車両故障等及び自然災害以外のもの。）
自 然 災 害	水風雪雷害、地震災害等の自然災害に起因するもの

注1) 本用語の説明は、鉄道事業法を基本に記載しております。

注2) 自殺によるものは、輸送障害に分類しております。

注3) 自然災害の都県別データについては、地震、台風等の広域で発生した輸送障害を主たる都県で統計しております。

*：詳細は「鉄道事故等報告規則」、「軌道事故等報告規則」をご参照下さい。